

平成 23 年度 第 142 回 教育研究審議会議事要録

日時 平成 23 年 5 月 31 日 (火) 13 : 30 ~ 15 : 35
場所 北方キャンパス本館 E701 会議室
出席者 近藤学長、岡本副学長、梶原副学長、木原副学長、堀口事務局長、伊藤外国語学部長、吉田経済学部長、松尾文学部長、山本法学部長、伊野地域創生学群長、龍国際環境工学部長、漆原基盤教育センター長、横山社会システム研究科長、王マネジメント研究科長、古賀都市政策研究所長、八百学術情報総合センター長、田部井学生部長、二宮教務部長、柳井入試広報センター長、隈本学術情報総合センター副センター長、上江洲地域貢献室副室長、廣渡評価室副室長

配布資料

- 1-1 欠員補充申請書 (基盤教育センター)
- 1-2 欠員補充申請書 (国際環境工学部)
- 2 大学院教育改善委員会の設置について
- 3 環境教育ワーキング・グループ及び英語演習ワーキング・グループの設置について
- 4 2009 年度入学生 (北方キャンパス) に対する早期支援システム実施報告
- 5 北九州市立大学入試広報活動報告 (平成 22 年度)
- 6 入試広報戦略・平成 23 年度入試広報計画
- 7 平成 23 年度に実施する入学試験スケジュール (案)
- 8 平成 22 年度卒業生アンケート報告書
- 9 北九州市立大学 科学研究費補助金の獲得状況 (H23. 5. 2 現在)
- 10 北九州市立大学教員海外出張・研修報告書

第 1 号 教員の採用について

* 資料1-1のとおり、基盤教育センターからの申請に基づき、平成22年9月30日付けで退職したホートン・ステファニー准教授の後任として、異文化言語 (英語) 教育担当教員 1 名の欠員補充について提案。

【議長】 提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】 (異議なし)

(議案承認の後、選考委員会を設置)

* 資料1-2(pp. 1-2)のとおり、国際環境工学部からの申請に基づき、平成24年3月31日付けで定年退職する浅岡佐知夫教授の後任として、先進材料化学担当教員1名の欠員補充について提案。

【議長】 提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】 (異議なし)

(議案承認の後、選考委員会を設置)

* 資料1-2(pp. 3-4)のとおり、国際環境工学部からの申請に基づき、平成24年3月31日付けで定年退職する須藤勝蔵教授の後任として、機械工学 (加工学及び設計法) 担当教員1名の欠員補充について提案。

【議長】 提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】 (異議なし)

(議案承認の後、選考委員会を設置)

* 資料1-2(pp. 5-6)のとおり、国際環境工学部からの申請に基づき、平成24年3月31日付けで定年退職する三根直人教授の後任として、構造・施工分野担当教員1名の欠員補充について提案。

【議長】 提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】 (異議なし)

(議案承認の後、選考委員会を設置)

* 資料1-2(pp. 7-8)のとおり、国際環境工学部からの申請に基づき、平成24年3月31日付けで定年退職する松藤泰典教授の後任として、材料デザイン分野担当教員1名の欠員補充について提案。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】（異議なし）

（議案承認の後、選考委員会を設置）

第2号 大学院教育改善委員会の設置について

* 資料2のとおり、大学院教育改善委員会の設置について提案。

○ 中期目標の一つである「大学院教育の充実」の達成に向けて、3つの方針（DP・CP・AP）の策定・明確化による教育のPDCAサイクルの構築、及び定員充足率の向上を目指す取組みを推進するため、学長を委員長とする組織を設置する。

また、委員会に「文系大学院小委員会」「国際環境工学研究科小委員会」「マネジメント研究科小委員会」を設置し、各小委員会において、教育改善の具体的な内容を検討し、各研究科の教育改善の取組を推進していく。

○ 平成21年度の大学機関別認証評価と、平成22年度の経営系専門職大学院認証評価の結果を踏まえ、大学院教育の見直しに取り組むものでもある。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】（異議なし）

第3号 環境教育ワーキング・グループ及び英語演習ワーキング・グループの設置について

* 資料3のとおり、環境教育ワーキング・グループ及び英語演習ワーキング・グループの設置、及びこれに伴う学部等教育改善委員会規程の一部改正について提案。

○ 中期計画に掲げた北方キャンパスでの「環境人材の養成」と「世界を舞台に活躍する語学力に優れた人材の養成」を推進していくため、第139回教育研究審議会（平成23年4月12日開催）で承認された学部等教育改善委員会に新たに2つのワーキング・グループを設置するものである。

○ 環境教育ワーキング・グループでは、北方キャンパスにおける環境教育、英語演習ワーキング・グループでは、各学部における英語演習について、科目編成、教育体制の実施方針を作成する。

● 環境教育ワーキング・グループの委員(案)として、基盤教育センターの日高京子教授と森本司教授が上がっているが、本人の業務量が増える点で了承は得られているのか。

○ 日高教授からは内諾を得ているが、森本教授は確認中である。

● 英語演習ワーキング・グループの委員(案)として、外国語学部のストラック准教授が上がっているが、今年度の1学期は国内研修中である。委員就任は、研修の本来の意図から外れてしまわないか。

○ ストラック准教授には、実施方針を具体的に展開していく段階での貢献を特に期待している。本人と連絡をとり、研修の件も含めて調整したい。

○ 森本教授とストラック准教授については、今後本人と調整し、次回の教育研究審議会で報告する。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】（異議なし）

報告

① 平成22年度早期支援システム実施状況報告について、資料4のとおり報告があった。

② 平成22年度入試広報活動について、資料5のとおり報告があった。

③ 入試広報戦略及び平成23年度の入試広報計画について、資料6のとおり報告があった。

④ 平成23年度に実施する入学試験実施日程及び平成24・25年度入試の主な変更点について、資料7のとおり報告があった。

- ⑤ 平成 22 年度卒業生アンケート報告書について、資料 8 のとおり報告があった。
- ⑥ 科学研究費補助金獲得状況について、資料 9 のとおり報告があった。
- ⑦ 教員の海外出張について、資料 10 のとおり報告があった。
- ⑧ 次回の審議会を 6 月 14 日（火）に開催する予定である旨、報告があった。